

かたらい

校区の取り組みを紹介します!

田隈校区

9月21日(土)田隈校区社会福祉協議会と男女共同参画協議会の共催で講師に書家：悠杏さんをお迎えして講演会「書を愉しもう 文字を楽しもう」を実施しました。

始めに4mの大きな紙に文字を書いていくパフォーマンスを見せていただき、司会の男女共同参画協議会会長と対談形式でのお話と、海外でのパフォーマンスなどの映像を通し、幅広く老若男女また国も問わず楽しめるデザイン書道の魅力を感じていただき、最後は参加者68名各々筆を使わずマイウチわ作りを体験し楽しい時間となりました。

毎年、社会福祉協議会と共催で講演会を開催し地域の方々に誰もが暮らしやすい社会について、いろいろなテーマで交流する時間を共に過ごしたいと考えています。

また、11月3日(日)田隈公民館の文化祭で今年の活動をまとめたパネル展示し、家事分担から家事シェアに「家族事」はじめませんか?のパンフレットを見ていただきました。

田隈校区 永淵 加奈子



百道浜校区

12月14日(土)男女協と人尊協はすべての人の人権を尊重する地域作りという共通の目的があります。そこで共催で講演会をしました。「LGBTQの基礎知識と性同一障害当事者の真実」として、講師に黒部美咲さんにお話しをしていただきました。

講演後の皆さんの感想の一部を紹介します。

- ・自分らしく生きていなかった年月どんなに頑張ったろうかと思いました。
- ・自然にカミングアウトできる世の中になったらいいと思います。
- ・「いろいろな人がおるっちゃんない」という考えが普通の世の中になって欲しいです。
- ・自己認識、心の性別が本質で、外形は従属とのこと
- ・身体が自己にとってサイズの合わない服であるように聞きました。
- ・トランスジェンダー当事者のお話が聞くことができ理解が深まりました。



講演後、黒部さんを囲んで話をしました。

この問題は差別であり、一人一人の個性として尊重される社会であるべきです。最近のニュースや法の判定などにも関心を持つことができる機会になりました。

百道浜校区 島本 三重子

2024年度 早良区男女共同参画をすすめる会 委員紹介

四箇田 堂之前 世津子	野 芥 日高知子	入 部 福山京子
脇 山 真子 美穂	内野曲淵 高木俊子	早良 岩尾裕美
飯 倉 細川勝子	有田 柴田幸子	賀 茂 諸 夢彩子
田 村 緒方豊子	有住 中村 名菜代	田 隈 印口 沙也加
大 原 藤田千恵子	原 北 牧山康子	小田部 川田 恵子
飯倉中央 岩田典子	飯 原 大須賀 睦子	原 西 吉本 敬子
西 新 曲手さよみ	百 道 江口 智之	百道浜 島本 三重子
室 見 江藤みどり	高 取 一坊寺 優子	原 松永 真喜子



【発行】 早良区男女共同参画をすすめる会・早良区地域支援課

〒814-8501 福岡市早良区百道2丁目1番1号 電話 092-833-4403 2025年3月発行

2024年(令和6年)度 早良区男女共同参画講演会

「ジェンダー平等のためにあなたができること」

講師 上野 千鶴子さん (社会学者、東京大学名誉教授)
2024年11月16日(土)



撮影:後藤さくら

とても静かな語り口で、わかりやすいお話でした。詳しいデータをもとに、今の日本にある男女不平等を鋭く批判し、格差社会の実態を明らかにされました。

男性が外で働き、女性は家庭と仕事という新・性別役割分担では、女性の就労・昇進は抑制され、結果として、非正規で働く女性が増え、男女賃金格差が生じることとなります。

日本のジェンダー平等は、ギャップ指数118位(2024年146か国中)でも明らかのようにまだまだ大きな課題です。だからこそ私たちが今やらなければならないことを上野先生は示してくださいました。それは「傍観者にならないこと」、「ちょっと待った!!」と発信することです。地域で活動している中で、そんな場面は多々あります。

「がまんする」、「しかたがない」等、私たちが引きずってきたものを次の世代には残さないという強い思いで活動を続けていくことです。それが、ジェンダー平等のために私たちができることだと確信しました。

また講演前の〇×クイズでは、世界男女平等ランキングや男女賃金格差の問題などを会場の皆さんと一緒に考えました。上野先生のお話につながる内容になったのではないかと思います。

有住校区 中村 名菜代



会長あいさつ

早良区男女共同参画をすすめる会は、早良区25校区の組織代表が集まり、情報交換しながらあらゆる分野において男女が共に参画していく事を目標に講演会や各種研修会等を実施しています。

これらの活動を通して、女性の非正規雇用をはじめ、男性の育児休暇取得、男女間の賃金格差の問題等について、声を出していかなければ前に進めないことを学びました。

これからも男女共同参画の視点から意識啓発等に積極的に取り組み、男女平等の社会の実現に向けて活動を続けていきますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

飯倉校区 細川 勝子



早良区男女共同参画をすすめる宣言

- ① 地域で「男女共同参画について考える機会」を提供し、個々の意見を尊重・共有する。
- ② 学びと気づきに努め、その成果は発信する。
- ③ 公民館や校区の各団体の皆さんとの連携に努める。
- ④ 自治協議会の一員として、「男女共同参画の視点」から校区行事を盛り上げる。

2024年度 ブロック活動紹介



早良区男女共同参画をすすめる会では、区内を4つのブロックに分けて研修を行っています。2024年度は、次の4つのブロックで研修を行いました。

Aブロック (野芥、四箇田、入部、脇山、内野・曲淵、早良校区)

多様な視点で地域を元気に ~ ジェンダー平等のまちづくり ~

講師 武藤 桐子さん (NPO法人福岡ジェンダー研究所)
2025年1月25日 (土) ともてらす早良

「男は仕事、女は家庭」「男は稼ぎ手、女は家計補助」という考え方は、戦後の高度経済成長期に広まったもので、現在は共働き世帯の増加、未婚化、晩婚化、非婚化の進行、単身世帯や夫婦のみ世帯、ひとり親世帯の増加で、これまでの「担い手」「役割分担」を期待することは困難になり、地域の課題もより多様で複雑になってきている。そこで性別や年齢に関わらず、多様な人があらゆる場面に参画したり、意見を出し合ったりすることがより重要になってくる。

災害時の避難所づくりにおいても男女共同参画、意思決定の場への女性の参画が進んでいないと、女性や子育て中の人のニーズが配慮されないということが起きてきます。例えば避難所の女性トイレの数は、時間的にも男性トイレの3倍は必要です。そうでないと女性は男性の3倍の時間、並ばなくてはなりません。男女双方の意見が入ることで多くの立場の人への配慮につながるのです。

地域でのジェンダー平等を広げていくには、学ぶことがたくさんあると思います。

野芥校区 日高 知子



Bブロック (飯倉、有田、賀茂、有住、田隈、田村校区)

「LGBTQという言葉の先へ」~ 私たちのSOGI(E)の人権 ~

講師 中島 みつこさん (NPO法人LGBTの家族と友人をつなぐ会)
2024年9月21日 (土) 有田公民館



参加者の多くが「LGBTQという言葉の先へ」という意味が、わかりやすい講話の中で理解できたという感想をもたようでした。多くの人の関心のあるテーマであったけれども、「SOGI(E)」という考え方をすることで、新たな学びができたのではないかと思います。

知識として学ぶことからその先へ課題を移し、「SOGI(E)」は私たち一人ひとりの人権の問題であること、マジョリティの側にいることが「ふつう」ではないこと、性別ではなく人それぞれの個性を認めること等を確認することができました。

さらに、ハラスメント場面でスルーをしないこと、「男の子?女の子?」などの前に一呼吸おいて…等、私たちにすすんでできることについて考えることもできました。

田村校区 緒方 豊子

Cブロック (大原、原北、小田部、飯倉中央、飯原、原西校区)

「男女協」って、何? ~ 時代と共に変わる男女共同参画 ~

講師 安部 修さん (早良区役所生涯学習推進課 人権教育推進員)
2024年10月20日 (日) 大原公民館

「時代と共に変わる男女共同参画」のテーマを通して、なぜ男女共同参画が必要なのかをわかりやすく具体的に説明していただきました。男女共同参画を英訳では“gender equality”つまり「男女平等(ジェンダー平等)」のことです。

男女が互いにその権利を尊重しつつ責任も分かち合い、性別に関わりなく、その個性・能力を十分に発揮することができる社会です。家庭、地域、職場、それぞれの現状を見るとあまり進んでいないようです。現状を正しく知り、家庭・地域・職場で、何をどのように取り組んだらいいのか、みんなで考え、時代と共に変えていく必要性を知りました。

「男は青、女は赤」などの固定観念を変えるのは、なかなか難しいですが、個々の意見を尊重し、共有し、家庭・地域社会を変えていきたいと思いました。

男女平等の大切さを広めるには、いろいろな方の講演を聴き、現状を正しく知ることが大切だと思いました。

大原校区 藤田 千恵子



Dブロック (西新、百道、百道浜、高取、室見、原校区)

アミカス寸劇隊 動画を視聴して男女共同参画を考えましょう!!

講師 太田 由美子さん (福岡市男女共同参画サポータークラブ 代表)
2024年10月5日 (土) 西新公民館

寸劇隊の動画 ①誰が看るの? ②男もつらいよ ③避難所リーダー を視聴しました。出席者を8グループに分け、1つの動画を視聴するたびにグループで意見を交換し、発表しました。

入院することになったおばあさんの話では、国の介護や休業の制度を知っておくこと、夫も家事に関わることが大事である、などの意見が出ました。

活発にたくさんの意見が出て、初対面の参加者の方ともいろいろな話ができて、とても有意義な時間を持つことができました。

今の人生100年の時代を幸せに暮らすために、性別に関わらず、働き方を考え、国の制度を利用しながら過ごしていくことが大事だと考えさせられました。

原校区 松永 真喜子

